

導入事例 Case Study

「Bizダイヤル」導入で通話料金が約4割削減 外出時だけでなく社内で移動の多い社員の利便性も向上



海外発の人気ドラマや映画、リアリティショーなどのエンターテインメント番組をBS・CS・ケーブルTVなどを通じて配信するFOXインターナショナル・チャンネルズ株式会社(以下、FOX)では、2013年3月からプロ野球や海外サッカーを中心としたスポーツコンテンツをお届けする「FOX SPORTS」をスタート。この新たな取り組みに伴う社員数増加(約40名)にあわせてIP電話端末を購入すると、設備投資費用が負担になってしまうため代替案を模索していました。その時「Bizダイヤル」を知り、導入を決めます。携帯電話をソフトバンクモバイルのスマートフォンに、固定電話をソフトバンクテレコム「おとくライン」に切り替えたFOXでは、スマートフォンで固定電話番号を利用できる「Bizダイヤル」を最小限の手間とコストで導入。外出の多い社員だけでなく、社内で席を離れることが多い社員の電話対応がスムーズになりました。



課題と効果



FOXインターナショナル・チャンネルズ株式会社
管理部 人事総務マネージャー
山澤 季夫 様

- 課題** 社員数の増加にともなうIP電話端末の増設にかかる費用を懸念していました。
- 効果** スマートフォンで固定電話番号を使える「Bizダイヤル」を導入したことで高額な設備投資が不要になりました。
- 課題** 外出の多い社員だけでなく、5フロアに分かれたオフィスで頻繁にある打ち合わせや、制作部門は編集室で過ごすことも多く固定電話ではスムーズかつスピーディーな仕事がなかなか難しい状況でした。
- 効果** 固定電話番号あての電話をスマートフォンで受けられるようになり、電話対応が遅れることがなくなったほか、代理応答や取り次ぎ業務が不要になりました。
- 課題** 社員の電話番号の管理はExcel表のみで、携帯電話の電話帳への登録は個人の管理に委ねられていました。
- 効果** 「Bizダイヤル」の共有電話帳で社員全員の電話番号を一括管理。スマートフォンユーザーは個々での電話番号登録は不要になり、非常に便利になりました。

導入の背景 ●●●●●▶ 社員数の増加にともなうIP電話端末の増設コストが課題に

「FOX SPORTS」の立ち上げに伴う社員増で、「必然的に電話も増やす必要があり、この設備投資を最小限に抑えられないか模索していました」と「Bizダイヤル」導入前を振り返るのは、同社の山澤季夫氏。以前から利用していたIP電話は1台当たり10万円近くするため、設備投資がかさんでしまいます。

この増員にともなうIP電話端末増設の課題が浮上する1年ほど前、同社へ営業に訪れたソフトバンクテレコムに携帯・固定電話の他社からの切り替えに関する見積もりを依頼しました。試算した結果、コストダウンを見込めたので携帯電話をソフトバンクモバイルのスマートフォン、固定電話をソフトバンクテレコムの「おとくライ

ン」に切り替えました。そして今回、IP電話端末増設の検討を相談したところ、「Bizダイヤル」を紹介されたといいます。

「Bizダイヤル」はスマートフォン用の専用アプリケーションを使うことで固定電話番号あての着信に回答可能です。さらにスマートフォンから固定電話番号での発信も可能です。「他社からソフトバンクに切り替えた際にフィーチャーフォンからスマートフォンに機種変更していたので、『Bizダイヤル』を利用すれば固定電話番号での発信が可能になり端末が一括化できることをメリットと感じ、前向きに導入を検討し始めました」(山澤氏)

選択のポイント……▶ 最小限のコストと手間で導入できる手軽さが決め手

1台当たりが高額なIP電話の購入に比べ、「Bizダイヤル」はスマートフォンとクラウドPBX(クラウド型電話交換機)を利用することで交換機が不要で安価に導入することができます。また、新規事業の立ち上げに注力したいFOXでは、社内設備増加にかかる労力は最小限にしたいところです。従来の電話交換機のような設定の手間がかからないのも、導入の決め手となりました。「『おとくライン』の固定電話番号と携帯電話番号をひも付ける申込書を提出するなど最小限の事務処理だけで導入できました。電話番号が変わると取引先などのお客様に変更の連絡をしなければなりません。『Bizダイヤル』なら番号が変わらなかったため、社員に業務負

荷がかからなかったのもよかったです」と、山澤氏は導入の手軽さを語ります。

「Bizダイヤル」の付加サービス「共有電話帳」を利用している同社。その設定も容易だったといいます。「社員の氏名と電話番号、部署名のリスト作成と、電話帳表示のレイアウト決めを最初に行いました。あとは随時増える社員をリストに追加するだけです。『Bizダイヤル』そのものも『共有電話帳』も、新たなサービスへの加入というよりはオプションサービスを付けるくらいの気持ちで始められました」(山澤氏)

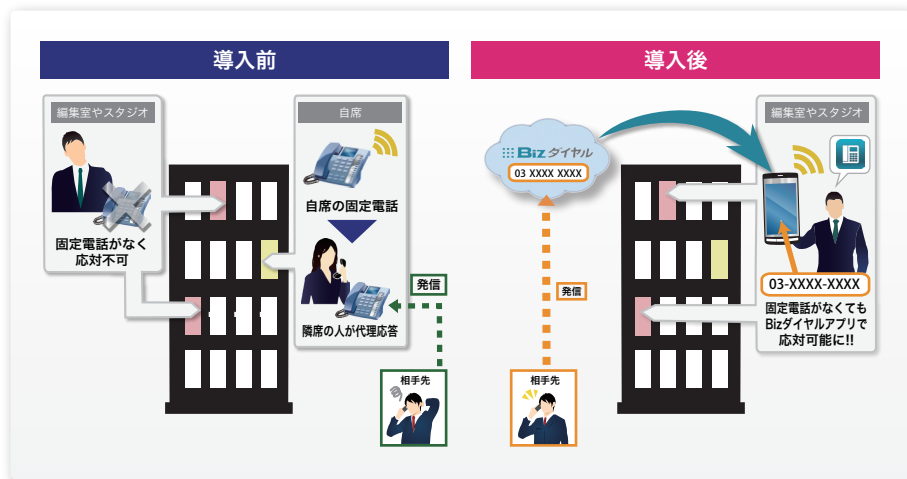
導入の概要と効果……▶ 通話料金が以前と比較して4割削減

管理職や営業部門、制作部門を中心に、あわせて100人ほどの社員が「Bizダイヤル」を利用しています。外出の多い営業はもちろん、社内で席を離れることが多い制作部門でも「Bizダイヤル」は好評です。180名ほどが5フロアに分かれて勤務しており、他部署との打ち合わせも多い同社。編集室、スタジオ、自席が別々のフロアにあるため、特に制作系のスタッフは編集室で過ごす時間が長いほか、会議もあり社内での移動が多いのです。「固定電話は自席にないと取れませんが、スマートフォンで自席の固定電話あての電話を取れるようになってからはスムーズな電話対応が可能になりました」(山澤氏)

スマートフォンを持たず、以前のIP固定電話を使っている社員もいますが、「共有電話帳」にはIP固定電話の番号のどちらも登録されています。「以前は社員の電話番号をExcelファイルで共有し、携帯電話の電話帳への登録は各自で行っていましたが、『共有電話帳』を使うことで各自登録作業することなく全社員の電話番号をスマートフォンで確認でき、社員同士すぐに連絡が取れるようになりました」と、山澤氏は利便性の向上を実感しています。

コスト削減効果も抜群でした。「固定電話料金が適用される『Bizダイヤル』を使った通話が増えたことで携帯電話の通話料金がぐっと減り、通話

料金は以前と比較して約4割削減できました」(山澤氏)。「おとくライン」やソフトバンク携帯電話との通話は無料になるほか、「おとくライン」以外の固定電話への通話料金は携帯電話では40円(税抜)/1分に対し「Bizダイヤル」なら8円(税抜)/3分。ソフトバンク携帯電話以外へは携帯電話からが20円(税抜)/30秒、「Bizダイヤル」からなら16円(税抜)/1分です。スマートフォンからの「Bizダイヤル」を使った固定電話番号での発信が増えれば通話料金削減に直結するため、山澤氏は社内でこの削減効果を周知し、さらに「Bizダイヤル」の利用を促進する考えです。



今後の展開……▶ 社員に馴染みのあるスマートフォンでさらなる活用促進を

「紛失対策として、ソフトバンクテレコム『ビジネス・コンシェルデバイス管理』を導入しました。遠隔操作で端末のデータを消去できるので、万が一紛失しても情報漏えいの心配はありません」(山澤氏)

固定電話と携帯電話を一本化して利便性が向上し、セキュリティ対策も万全な現状に不満はないと山澤氏はいいます。

「TV局というクリエイティブな人材が集まる業種ゆえ、最先端の

便利なアイテムをプライベートでも存分に使いこなす社員が多いです。その代表格がスマートフォンであり、手放せないアイテムになっている人が多いですね。もちろんビジネスでも会社から貸与したスマートフォンを情報収集などでおおいに活用しています。このスマートフォンで社内外のコミュニケーションも全て完結することになったので社員の満足度も向上しました」(山澤氏)

FOX インターナショナル・チャンネルズ株式会社

本社：東京都渋谷区神宮前6-25-14 神宮前メディアスクエアビル

設立：平成10年2月9日

事業概要：海外発の人気ドラマや映画、リアリティショーなどのエンターテインメント番組をBS・CS・ケーブルTVなどを通じて配信する放送局。「National Geographic Channel」では科学、自然、歴史を中心としたドキュメンタリーを、「FOX SPORTS」では日本プロ野球や海外サッカーなどのスポーツコンテンツも扱っています。

URL：<http://tv.foxjapan.com/>

FOX International Channels
JAPAN

※パンフレット記載内容は、2014年3月現在のものです。